



さくら会 だより

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第58号 2021年7月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ：http://www.sakurakai.jp/



モッコウバラ

20周年を迎えて



～ 品川区立月見橋在宅サービスセンター ～



活動風景

話は変わりますが、月見橋の家の入口にはモッコウバラが植えてあります。花言葉は、「幼いころの幸せな時間」や「ふさわしい人」とあります。「月見橋の家」にかかわる皆様が少しでも幸せな時間を過ごすための「ふさわしい居場所」であり続けられるよう、これからの10年も地域の皆様と共に歩ませていただければと思っております。

「月見橋の家」は品川区の指定管理者としてさくら会が「地域密着型」と「認知症対応型」、二つの通所介護事業を運営しています。18名から20名前後の少人数制でこぢんまりとしています。一般的なデイサービスよりも職員の配置が多いのが特徴です。ご利用者お一人おひとりとの縁を大切に思いながら丁寧な支援を心掛けております。現在、コロナ禍で活動自粛を余儀なくされておりますが、ご利用者に「当たり前の日常」を過ごしていただけるよう、出来ることに目を向けながら、感染予防を万全に皆様のお越しを職員一同お待ちしております。



品川区立月見橋在宅サービスセンター

平成13年4月に開設した品川区立月見橋在宅サービスセンター「月見橋の家」は、この度20周年を迎えました。地域の皆様、ボランティアおよび関係者の皆様には、「月見橋の家」を励まし、育てていただきまして心より御礼申し上げます。

新任挨拶

さくらハイツ南大井

施設長 高橋 健介



令和3年4月1日より、さくらハイツ南大井の施設長に就任しました高橋です。社会福祉法人での勤務は初めてで不安がりましたが職員の方々が優しく接してくれ、馴染むことができました。皆様、よろしくお願いたします。

南大井第二在宅介護支援センター

所長 横尾 豊



令和3年6月1日から南大井第二在宅介護支援センターの所長に就任することとなりました。横尾豊と申します。

私は社会福祉法人さくら会に就職してから20年、南大井第二在宅介護支援センター一筋で勤務をして参りました。これからも、ますます学びを深め、皆様が安心して相談をしていただける支援センター運営を心がけて行きます。宜しくお願致します。

新人紹介

新たに採用された職員を紹介します



ケアセンター南大井 介護職 小泉光平
ケアセンター南大井に勤務する前は、大田区の老健で約9年間介護の仕事に携わっていました。前施設での経験を活かし、力を発揮出来る様に頑張つて参りますのでよろしくお願いたします。



ケアセンター南大井 介護職 飯塚真弓
入社して9カ月が経ちましたが、まだわからないことが多く日々勉強です。ご利用者に寄り添った介護が出来るよう心がけ、先輩方からも学びたいと思います。よろしくお願いたします。



ケアセンター南大井 介護職 近藤奈穂
1月に入職いたしました。学びの気持ちを持って仕事に取り組み、利用者様が笑顔で過ごせるよう努めて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願致します。



ケアセンター南大井 介護職 ボノスト・マリエル・アリオリ
ケアセンター南大井3階に配属されました。フリーピン出身で、日本語はまだ未熟で、わからないこともたくさんありますが、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



ケアセンター南大井 介護職 布川真都
社会人としても1年目で、実力不足を痛感することもありますが、職員とご利用者の皆さまの優しさに助けられています。これからもよろしくお願いたします。



ケアセンター南大井 通所リハビリ理学療法士 黒瀬悟史
理学療法士として5月に入職したばかりですがケアセンター南大井のために一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。



大井林町地域密着型多機能ホーム 介護職 後藤陽一
昨年の10月に入職致しました。大井林町地域密着型多機能ホーム所属の後藤陽一です。ご利用者様とのふれあいを大事に、自分らしく頑張つていきますので、よろしくお願いたします。



南大井第二在宅介護支援センター 介護支援専門員 橋本 泉
ケアマネジャーとして配属されました橋本泉と申します。新潟出身です。元気に明るくお仕事に取り組んでいけたらと思います。どうぞよろしくお願致します。

品川福祉保健従事者

実践・研究発表会

2年連続優秀賞受賞！

本年2月に『品川福祉保健従事者実践・研究発表会』がオンライン開催されました。本年は、令和元年度より開始した在宅支援を強化した施設基準である『在宅強化型』の取り組みについて、一人の利用者の支援事例を中心に発表しました。各職員が利用者と共に課題を抽出し、その課題に向けて多職種連携にて取り組んだことで、ご自宅での生活を継続できたことが高く評価されました。



介護が重度化する中で、在宅生活の継続が困難と思われるケースが増加していますが、今回の受賞を励みに、当施設で在宅生活の可能性を探りながら、ご利用者がより充実した生活を送れるよう、支援していきたいと思っております。

栄養状態改善の取り組み

介護老人保健施設ケアセンター南大井

ケアセンター南大井では、採血データや体重、摂食状況等から、入所後できるだけ早い段階でご利用者の栄養状態を判断し、低栄養状態の方の栄養改善に努めております。

低栄養状態は、生活活動量の低下による食欲不振や咀嚼・嚥下機能の低下による摂食障害、さらには認知症によるものなどまちまちです。

個々の低栄養の要因に合わせ、食事量や栄養補助食品の使用、形態の検討はもちろんのこと、食事時の姿勢や食具、食事の介助方法なども多職種で検討しています。

また、積極的に歯科医とも連携し、義歯の作成や調整、歯周疾患や虫歯の治療等を促進しています。

その結果、食事がしっかりと摂取できるようになり、栄養状態が改善していきま

す。リハビリも積極的に行えるようになり、ご本人のみならず、ご家族からも喜ばれています。

今後も栄養・口腔・リハビリテーションの一体化を意識しながら、栄養管理をしていきたいと考えております。



	常食	軟菜食	マッシュ食	ミキサー/ペースト食	ムース食
盛り付け写真					
形態の特徴	一口大にカットすることもできる。	歯茎でつぶせる硬さ。食材と調理法を工夫し、軟らかくしている。	舌と口蓋で潰せる硬さ。軟菜食を包丁やフードコンタナーで細かくした後、包丁ですり潰しまとめたもの。	流動性があるもの。粒がなくなるまでミキサーにかけたもの。トロミ剤で粘度を調整する。	ペースト食に凝固剤を加え、固めたもの。
対応主食	ご飯～全粥 耳ありパン～耳なしパン	軟飯～全粥 耳なしパン～パン粥 (歯の残存状況も考慮)	全粥～粥ゼリー (パン粥～パン粥ゼリー)	粥ペースト～粥ゼリー (パン粥ペースト～パン粥ゼリー)	

民生委員学習会を書面にて開催

南大井第二在宅介護支援センター

南大井・南大井第二在宅介護支援センターでは、品川区より委託を受け、地域の見守り役である民生委員を対象に、例年認知症サポーター養成レベルアップ講座『民生委員学習会』を実施しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑みて、書面開催としました。書面開催とは、テキストを送付し、読んで頂き、その学びや地域における実践の様子を書面で回答頂くものです。



テキストの東京都健康長寿医療センター発行『本人にとつてのよりよい暮らしガイド』には、認知症のご本人の思いや意見が掲載されています。回答には、「新たな学びを広げることができた」「理解が深まった」というご意見、ご感想を多数頂きました。

コロナ禍において、地域を支える一員として、認知症の方や、民生委員の皆様と共に在宅介護支援センター職員一同、ますます努力して参ります。

コロナ禍で家でできる運動等

～動きましょう～

①ヒザ伸ばし

ヒザを出来るだけまっすぐに伸ばします。



②モモ上げ

モモを出来るだけ高く持ち上げます。



③バンザイ

両手でも片手でも出来るだけ腕を上上げます。



※回数：・5～10程度

※注意点：・「ゆっくり」と行ってください。

・体調に応じて無理のないように行ってください。

未だ続くコロナ禍ですが、足腰が弱くなったり、力が落ちたりしないように「動くこと」をより一層に意識しましょう。

今回はご自宅の中で、椅子に腰かけたままでもできる、お薦めの運動を三つほど紹介させていただきます。

家の中での熱中症対策

屋外にいる時だけでなく、家の中でも熱中症になることがあります。今回は家の中での熱中症対策についてのお話です。

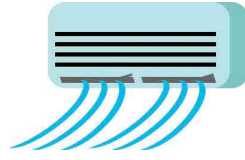
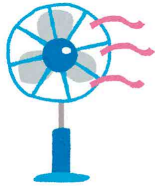
1. 室温だけでなく、湿度が高いときも熱中症に注意が必要です。室温25～28度、湿度45～60%くらいになるように冷房器具や除湿器などを使用しましょう。暑かった日は寝室に熱がこもらないように夜間も冷房を使うといいでしょう。

2. 室内にいる時は喉の渴きを感じにくいことがあります。入浴前後や就寝前起床時にも水分を摂りましょう。また適度な塩分摂取も大切です。

3. 睡眠不足や体調不良、栄養不足も熱中症になる危険性を高めます。生活リズムを整えバランスの良い食事や十分な睡眠をとるよう心がけましょう。

4. 暑い外から帰ってきた時は、すぐに窓を開けて換気すると同時に冷房をつけましょう。

家の中でも熱中症対策を心がけ、暑い夏を乗り切りましょう。



室温 25～28度 湿度 45～60%

立会小学校のあいさつ運動に参加

品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム（大井林町倶楽部）

立会小学校の通学路にある大井林町倶楽部では、学校の登校日にあたる土曜日の朝7時45分から8時15分の間「あいさつ運動」に参加しています。

子供たちにあいさつの大切さを伝え、あいさつを通して子供たちとふれあう事を大事にしています。そして子供たちの毎日の生活を見守ることができるよう心がけています。指定のたすきをつけて林町倶楽部の前で「おはようございます。行ってらっしゃい。」とあいさつすると、子供たちも笑顔でお辞儀をしてくれたり、大



きな声であいさつを返してくれるので、ご利用者、職員ともに元気をもらっています。今後「あいさつ運動」を通して地域の方々との交流を深めていきたいと考えています。



PCR検査について

施設で従事する職員は、PCR検査を受けています。無症状でも、新型コロナウイルスに感染している場合があります。感染の早期発見のためには、PCR検査が有効です。

さくら会南大井事業部では、令和2年度に品川区が12月と3月に実施した従事職員に対するPCR検査で、延べ442人が検査を受け、すべて陰性でした。令和3年度は、5月から毎週または毎月検査を実施していますが、これまですべて陰性です。ご利用者の皆様ご安心ください。

また、職員自身による施設設備消毒も毎朝、実施するなど、新型コロナウイルス感染症予防対策に取り組んでいます。

連載No.17

……専門職に聞く……

さくら会ヘルパーステーション

介護職 芦野 雪絵

Q1 仕事の内容

訪問介護事業所の管理者でサービス提供責任者です。

主に、自宅で生活されているご利用者が、安全かつ安心して暮らし続けられるように、ケアマネージャーとの連絡調整や訪問介護員の派遣調整を行っています。

Q2 専門職として心掛けていること

ご利用者、ケアマネージャー、訪問介護員それぞれのパイプ役として、一期一会を大切にし、ご利用者のその人らしい生活の一部をお手伝いできるように心掛けています。

Q3 ご利用者、読者に向けてメッセージ

南大井で生まれ育ち、縁があり、さくら会に入職しました。今まで支えて下さった方々や地域の皆様にご感謝し、恩返しができるように頑張っています。



今後ともよろしく
お願いいたします。

次回10月号は「相談員」
阿部あかねさんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0003 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和3年10月です。